

## これまでの震災復興推進会議の概要（主要部分を抜粋）

### 【平成24年度】

日時	会議概要	取組の状況
<b>第1回</b> 平成24年7月16日 (25人全員出席)	・将来を担う子供たちのために学校の早期復興	・平成27年度 桜坂高等学校開校 ・平成29年度 雄勝小中学校、渡波中学校開校予定
	・産業や住宅復興とあわせた芸術・文化の復興	・仮設住宅集会所等を利用した地域交流事業、芸術鑑賞事業等実施
	・放射能風評被害対策	・市内200ヶ所で定点測定を実施し、結果を市報やHPで公表 ・測定器の無料貸し出しを開始 ・現在は、水産物の安全性確認する検査体制を整備
<b>第2回</b> 平成24年8月26日 (22人出席)	・漁業振興による収益性の高い戦略を提供	・市管理の34漁港の復旧工事の進捗を図り、漁業地域の自主的な立ち上がりをソフト、ハード両面から支援
	・マンパワーの確保	・採用職員数の見直し、任期付職員の採用、他自治体への派遣要請、臨時職員の活用等を実施
	・被災者の住宅再建支援	・平成25年度から被災者の住宅再建を支援する2つの事業を実施。平成27年度から更なる定住促進を図るため、事業内容を拡充予定。
<b>第3回</b> 平成24年9月30日 (18人出席)	・半島部の高台移転のスピード化	・平成24年度～ 造成工事施工 ・平成26年度～ 一部地区で宅地供給開始
	・アスベストに対する不安、正しく測定、公表	・目視調査 約4,600件 ・分析調査 約150件 ・アスベスト除去 約2,800件 ・モニタリング調査を実施、結果を公表し、注意喚起を実施
	・渡波稲井線整備	・平成27年度から用地買収、道路工事、トンネル工事等実施 ・平成30年度 完成予定
<b>第4回</b> 平成24年11月4日 (20人出席)	・スポーツの振興、施設整備に民間資金団体の活用	・市民の健康づくりや交流促進、スポーツ実施率の向上に向け、関係機関との協働で各種事業を実施 ・企画・運営はNPO法人石巻市体育協会に委託するとともに、誰もが気軽に楽しめるスポーツの取組を積極的に支援
	・地域包括ケアの整備	・平成25年10月 石巻市地域包括ケア推進協議会を設置 ・平成26年3月 石巻市地域包括ケアシステム推進計画基本構想を策定 ・平成27年3月 石巻市地域包括ケアシステム推進実施計画を本市地域包括ケアの推進に向け策定
<b>第5回</b> 平成25年2月17日 (23人出席)	・追波川河川運動公園陸上競技場を全天候型で整備	・平成25年4月から再開（現状復旧） ・平成27年度 全天候型に準ずる舗装材による改良実施予定
	・釜幹線水路の機能回復（改良）	・平成24年10月 測量・設計業務開始 ・平成26年12月 改良工事着工 ・平成27年度末 完成予定

### 【平成25年度】

日時	会議概要	取組の状況
<b>第1回</b> 平成25年5月25日 (11人出席)	・市内復興事業を視察 (中心部、牡鹿、北上、雄勝、河北地区)	/
<b>第2回</b> 平成25年7月28日 (21人出席)	・仮設住宅入居者健康調査	・平成24年度から毎年、県と市が共同で実施 ・市は分析結果の検討と要フォロー者のフォローを実施
	・大川地区農地復旧状況	・平成24～26年度 259ha ・平成27年度 53ha ・平成28年度 103haの復旧を予定
<b>第3回</b> 平成25年9月29日 (16人出席)	・震災住宅建設に地元木材の使用	・新渡波A 主要部材の40%以上の県内産木材使用 ・半島部戸建住宅 主要部材の60%の県内産木材使用 ・平成26年度第3回募集事業から応募、提案条件の特殊要件として、「構造材の40%以上に宮城県産木材（加工品も可）を使用すること」を明記し、地場産木材を活用

日時	会議概要	取組の状況
第4回 平成25年12月22日 (17人出席)	・医療費の無料化	・平成24年度 国及び県の財政支援で一部負担金等免除を実施 ・平成25年度 なし ・平成26年度 ①大規模半壊以上かつ住民税非課税世帯 ②主たる生計維持者が死亡又は行方不明の世帯であった者で住民税非課税のいずれかに該当する者の一部負担金等免除を実施
	・発電施設への取組み（上品山の風力発電）	・平成29年度の完成を目指し、民間事業者が環境影響評価等の各種手続き作業を行っており、市は事業が円滑に進むように支援
第5回 平成26年3月16日 (11人出席)	・災害公営住宅における障害者への配慮	・バリアフリー化の徹底と将来の車いす対応住戸仕様に整備（手摺、非常警報型インターホン、緊急コールボタン等設置）
	・地域コミュニティの再生 ・仮設自治会地等の見直し等	・東部地区まちづくり事業の推進 ・コミュニティづくり支援補助金の拡充 ・地域づくりコーディネート事業の実施 ・集会所建設費補助金の見直し ・入居者事前説明会の開催

【平成26年度】

日時	会議概要	取組の状況
第1回 平成26年7月20日 (17人出席)	・仙石線の全線開通	・平成27年5月30日全線再開
	・市民への情報提供	・市報、ホームページ等で周知するとともに、幅広く市民の方々の声を聴いていく。
	・復興公営住宅の整備	・平成25、26年度 約1,000戸供給予定 ・平成27年度末 約1,500戸供給予定 ・平成28～29年度末 約2,000戸供給予定
	・市立病院の再建	・平成26年10月 建設工事着手 ・平成28年夏頃 開院予定
第2回 平成26年10月13日 (16人出席)	・沿岸被災用地の有効活用	(南浜地区) 国、県、市が連携して復興記念公園を整備予定 (中瀬地区) 水辺を活かした親水空間の整備等
	・新内海橋の工期	・平成29年度中の完成、供用予定（県が工事を実施）
	・自動車避難シミュレーション	・避難行動要支援者の避難方法として確立を検討
第3回 平成26年11月22日 (8人出席)	・市内復興事業を視察 (中心部、牡鹿、北上、雄勝、河北地区)	
第4回 平成27年1月31日 (16人出席)	・七窪蛇田線	・平成27年度 用地買収、道路工事予定 ・平成30年度末 工事完了予定
	・限界集落化	・半島部の防災集団移転事業で平成26年度末で公営住宅も含め、28戸を予定。地域コミュニティの構築や半島部拠点エリアとのアクセス向上、集落維持対策を検討
	・駅前渋滞緩和対策	・平成27年2月 国道398号区画線変更 ・駅前から小川町踏切付近までの道路拡幅による交互通行化に向け、住民説明会を実施
	・避難方法	・津波避難については、徒歩避難を原則とし、住民等一人ひとりの自主的な行動が基本
	・地盤沈下・浸水被害の防除	・市街化区域は、雨水排水基本計画に基づき、平成30年度を完成目標年度とし、順次着手。半島部は、防集残土を活用した盛土嵩上げをする計画を策定し、平成27年度より順次設計工事に着手。
	・複合文化施設の整備	・平成26年8月 複合文化施設整備市民懇談会設置 (広く市民の意見を聴取し、計画に反映)
	・半島部の拠点整備について	(雄勝) 平成27年7月 低平地嵩上げ部分の工事開始予定 平成28年下期 上物施設の建築工事開始予定 (北上) 平成28年3月 っこり防集団地工事完了 平成28年9月 復興公営住宅建設予定 平成30年4月 北上総合支所建設予定 (牡鹿) 平成27年7月 基盤施設の設計等作業完了予定 平成27年8月 低平地嵩上げ工事開始予定 平成28年下期 上物施設の建築工事開始予定

